ボリビア内政・外交(２０１６年７月)

1. 概況
   1. 内政
      1. ５日，当地国連薬物犯罪事務所（UNODC）は，外務省において２０１５年コカ葉栽培監視報告書を発表。同報告書によると，２０１５年，コカ葉の栽培面積は前年比で１％減少し，２０，４００haから２０，２００haとなった。
      2. ７月２５日～８月５日，パチ・ラパス県知事は，中央政府からの交付金の増額を要求してハンガーストライキを実施
   2. 外交
      1. １２日，マドリードでスペイン経団連主催「ボリビア投資フォーラム」が開催
      2. １７日，チョケワンカ外務大臣を団長とする約６０人の視察団がチリのアリカ港及びアントファガスタ港を視察し，１９０４年条約の違反行為が確認されたと発表
2. 内政
   1. ５日，当地国連薬物犯罪事務所（UNODC）は，外務省において２０１５年コカ葉栽培監視報告書を発表。同報告書によると，２０１５年，コカ葉の栽培面積は前年比で１％減少し，２０，４００haから２０，２００haとなった。UNODCが本件調査を始めた２００３年以来，コカ葉の栽培面積が最小となった。
   2. ８日，キヌア国際センターの設立が発表された。ボリビア政府が，亜，チリ，コロンビア，エクアドル，ペルー，ベネズエラの協力を得てオルロ県に建設する予定
   3. １３日，シララ水源防衛に関する審議会のレネ・マルティネス会長は，「海への出口」問題に関する法律専門家チーム（スペイン人１名，フランス人２名，イラン人１名）がシララ水源問題にも対応する旨発表
   4. ２０日，元MAS党支持者等は，２０１９年の大統領選挙，総選挙でMAS党に対峙するため新たな政党を結成すると発表。今後，法人格取得手続きを行うこととなる。
   5. ２１～２２日，先住民基金汚職問題に関しアチャコジョ前農村開発・土地大臣が検察の取調べを受けた。
   6. ７月２５日～８月５日，パチ・ラパス県知事は，中央政府からの交付金の増額を要求してハンガーストライキを実施。現在の３億ボリビアーノス（約４，２９０米ドル）の１０倍，中央政府の税収全体の４％に当たる３０億ボリビアーノスをラパス県に交付することを要求した。アルセ経済・財政大臣は，ラパス県の予算不足は県庁の予算執行が効率的でないためと述べた。
   7. ２８日，モラレス大統領は法的代理人を通じて，ウンベルト・バカフロール記者を提訴。２０００年に，モラレス大統領が主導して，コカ葉栽培者がコチャバンバ・サンタクルス間の道路封鎖を１か月以上にわたり行った際，警察官とその夫人がコカ葉栽培者により殺害された事件に関し，右を命じたのはモラレス大統領であったと同記者が報じたのは同大統領に対する名誉毀損であるというのが提訴の理由。
3. 外交
   1. 多国間関係
      1. ６～７日当国で「第４３回パラグアイ-パラナ川協定委員会」がボリビア，亜，伯，パラグアイ及びウルグアイの代表等の出席の下開催
      2. １２日サンタクルス市で，「第６回ガス・石油会議」が開催
      3. １３日，ハーグで，ロドリゲス駐蘭大使が「国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約」（ハーグ条約）に署名し，ボリビアは同条約の締約国となった。
   2. 対チリ関係
      1. ５日，シララ水源問題に関し，国際司法裁判所（ICJ）は，６月２３日にボリビアとチリの代理人が会合した結果を踏まえ，チリの申述書の提出期限を２０１７年７月３日，ボリビアの答弁書の提出期限を２０１８年７月３日に決定した旨発表
      2. １７日，チョケワンカ外務大臣を筆頭にアルラルデ外務次官，ゴンサレス上院議長，モンターニョ下院議長，運送業者代表，報道関係者から成る約６０人の視察団がチリのアリカ港及びアントファガスタ港を視察し，１９０４年条約の違反行為が確認されたと発表。また，チリのラウカ川の流れに関しても，工事により水の大半がチリ国内に人為的に引き込まれていることが改めて確認された。
      3. １９日，チリはボリビア視察団の来訪に反発し，ボリビアとの外交査証免除協定を見直すための手続きの開始を決定した旨発表したところ，２０日，ボリビア政府はチリに対する外交査証免除は継続する旨述べた。
   3. その他の二国間関係
      1. ８日，ガルシア・リネラ副大統領及びサンチェス炭化水素・エネルギー大臣は，ロシア国営原子力企業ロスアトム社と原子力技術に関する研究・開発センター建設プロジェクトの発展に関する協定，原子力技術利用の人材育成に関する協定及び原子力技術利用の国民の受容に関する協定に署名した。
      2. １２日，マドリードでスペイン経団連主催「ボリビア投資フォーラム」が開催された。オレジャーナ開発企画大臣，アルセ経済・財政大臣，マチカオ文化・観光大臣，ノスタス・ボリビア経団連会長が出席し，スペイン企業約１００社が参加した。
      3. １２日，モレイラ環境・水資源大臣は，ユネスコ水教育研究所及びオランダ政府との間で，シララ水源及び当国の他の地下水資源について調査を行うための覚書に署名した。
      4. １５日当国外務省は，１４日にフランスで起きたテロ行為を非難し，犠牲者に対して追悼の意を表するプレスリリースを発出
      5. ２０日，エルサルバドルのサンサルバドール市で，エンダラ外務省貿易・統合担当外務次官はロドリゲス経済副大臣との間で通商協定締結に向けた第２回会合を行った。
      6. ２８日ガルシア・リネラ副大統領及びモンターニョ下院議長は，ペルーの大統領就任式に出席
      7. ２８日ロメロ内務大臣は，ブレナン当地米国臨時代理大使と会合。ブレナン臨時代理大使は，大使館警備に関する協定の更新についての協議のために会合を申し込んでいたが，会合後，ロメロ大臣は，同臨代が野党政治家と会合しているのは内政干渉として批判
      8. ２９日当地中国大使館は，２９台の装甲車（約８億米ドル）をボリビア国軍に供与

(了)